

平成30年度第2回市民と議会のつどい（議会報告会）実施報告書

| | | |
|--------------|---|----------------------|
| 開催日時 | 平成30年11月10日（土） 午後1時30分 ～ 午後3時25分 | |
| 開催場所 | 山城支所別館 ホール | |
| 担当議員 | 班代表者 | 炭本範子 |
| | 司会者 | 谷川光男 |
| | 報告者 | 柴田はすみ |
| | 記録者 | 長岡一夫 |
| | 班員 (上記以外) | 尾崎輝雄、西岡政治、伊藤紀味枝、宮嶋良造 |
| 参加人数 | 11人 | |
| 主な質疑 ・意見等 | <p>市民と議会のつどいの説明資料をベースに、議会だより11月号の説明を実施。</p> <p>Q： 市民と議会のつどいを、中学校区に1会場で開催してもらいたい。 A： 当初は、中学校区ごとに行っていたが、参加者が少なかったので、3会場になったが、今後検討する。</p> <p>Q： ごみ袋の有料化について、引き続き検討課題としてほしい。 A： ごみ袋の有料化について、今後状況を見ていく。</p> <p>Q： 民間は保育士の待遇が悪いと聞く。保育園の民営化、国が公立の補助をなくすのは納得できない。 A： 民間保育園の待遇はわからないが、公立であると市の負担となる。行政改革の観点から民営化が好ましい。</p> <p>Q： 地域活動支援交付金が1世帯あたり、500円から300円に減額されると聞いている。地域では、環境整備など、いろいろな活動をしているのに納得がいかない。市に申し入れしてほしい。 A： 合併算定替えて6億円減収となり、給与カット、補助金の減等、市は削減できるものから削減していく方針である。地域活動支援交付金の減額については、議会にはまだ報告されてはいない。</p> <p>Q： 山城地域におけるコミュニティバスについて、土日も運行してもらいたい。また、小中学校の洋式トイレを増やしてほしい。 A： コミュニティバスの問題は市長に、トイレの問題は教育部に報告する。</p> | |

| | |
|---------------------------|--|
| | <p>Q： 城山台で学童保育の会を立ち上げているが、今年度、待機児童があった。仕事を辞めたり、転職したりする親もいる。働く親にとって、学童保育は必要である。</p> <p>A： 議会から行政に伝えておく。</p> <p>Q： 奈良市北部図書館の利用はありがたいことであるが、移動図書館については、廃止ではなく存続の検討をされたい。</p> <p>A： 条例の廃止が決まった案件であり、要望として聞いておく。</p> <p>Q： 通学路において、潰れそうな廃屋が2件あるので、どうかしてほしい。</p> <p>A： 場所を確認した上で、行政に報告する。</p> <p>Q： 京都大学農学部・農学研究科附属農場と連携すべきではないのか。</p> <p>A： 連携はしている。</p> <p><議員定数についてのご意見></p> <p>◎削減するほど財政は悪化していない。議員は市民のアンテナ役になってほしい。</p> <p>◎3年前に定数を減らし、また、今回も減らす。なぜ少しずつ減らすのかがわからない。反対ではないが、議員は何を考えているのか。</p> <p>◎木津川市は人口が増えている。3町の多様化しているニーズを吸い上げるためには、減らさず増やしても良い。議員報酬は少し上げてても良い。また、議員年金を復活してはどうか。</p> <p>◎この報酬で満足しているが、ボランティアなのか。議員の役割は何かを考えるべきである。</p> |
| <p>質問・要望等で行政側へ報告すべき内容</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・城山台での学童保育について、待機がでないよう取り組んでほしい。 ・通学路に隣接する廃屋をなんとかしてほしい。 ・山城地域におけるコミュニティバスの土日運行。 ・小中学校の洋式トイレの増設。 |
| <p>その他特記事項</p> | |

上記のとおり、報告します。

平成30年11月26日

木津川市議会議長 高味 孝之 様

平成30年度第2回議会報告会
第2班 代表者 炭本 範子

㊞